



高校の募集枠数を計画実施時に公表する案などが示され、出席者は「2箇口の募集枠の確保を」「軽減ある高校づくりにまい進して

東学区の議論の様子

附属剣路中 授業力向上セミナー

希望者 随時受入れ

全教科 遠隔研修にも対応

【剣路】道教育大学附属剣路中学校（早朝裕明校長）は、学校での遠隔研修などを通じて遠隔授業を実施。登校時間は、学校での遠隔研修を実施だけでなく、実地研修だけではなく、ウェブ会議システムを用いて、新たな授業スタイルを確立しつつある。

参入を希望する教員の臨時登校は、学校はこまなく、ZOOMや又方向学習支援センターとしての役割を果たすため、セミナーを実施することとした。遠隔研修で、金額ノートを用いて、金教科マニアとして了解研究で、金教科を対象に実施。同校でので学校と生徒自宅を結んだ。



顔
横
2020

子や職員の心に響くく取組期待

根室教育局義務教育指導監

中原英雄氏

4月に自身初の行政職に就いたが、常に現場感覚を忘れない。「校長、教頭の層に香り添ひながら学校運営のお手伝いができます」と書きている。

現在、根室管内では、「やる気の創生を相手にした教育実践」の推進をテーマに、様々な取組が行われている。重点を置く学校力向上では、今宵成・組織力向上・連携・協働の強化を手立てに掲げている。

学校現場を回る中、春季教員については「半々教員がとても良い」と評価する。臨時休業中、ICTを活用して多くの教員が率先して研修する姿がみられたといいながら、「新しい学び方に適応できるボラン

公立高配置計画検討協 渡島学区

1～2学級相当調整

6年度以降の4年間で

【函館】道教育は7月中旬、七飯町の大中町議会（渡島学区）を開いた。市内各町の教育長など約60人が出席。担当者がモニタリング第2回公議会（渡島学区）を聞いた。6年度以降の4年間で、2学級相当の調整が必要なこととする見通しを示した。

遠隔授業を実施。登校時間は、後からロイロノートを継続して、新たな授業スタイルを確立しつつある。

今回は、コロナ禍による教育の面接機会が少なくなっている中、教員研修センターとしての役割を果たすため、セミナーを実施することとした。

セミナーでは、参考する教員の希望に合わせ、自らの意見を出し、ZOOMや又方向学習支援センターとしての役割を実施することとした。

申込は、担当の赤木純基教諭にメール（kus-fu.chukyo@k.hokkaid.ac.jp）で。問い合わせ電話：0154（91）680174。

上に述べた通り、これまでにまた学級調整を進めるとともに、配慮を求める声が上がった。開会に伴い、道教育局の谷垣朝局長があいさつ。

胆振管内 高校配置計画検討協議会

西学区3～4学級調

東学区は0～

【函館】道教育は7月中旬、胆振管内2会場で令和2年度第2回令和3年度計画地域別検討協議会を開いた。胆振東学区は吉川牧野教育・福祉センター、

シヤルがおも」を目指める。若手に限らず、直感的な研修を含め、様々な取組によって校長の果たす役割は大きくなる。強く感じているのは、「形ばかりの達成アピリティ」ではなく、「子どもの感情の心に響かせたい」ということです。

自身も4年内、校長として勤務する中で「多くの課題に様々な手を行つても、うまくいかないことがあつた」。幸い、熱意あふれる教職員に囲まれ、保護者・地域・教育委員会の力を借りることで、「観察的に学校が変化していく様子を感じてきた」と語る。試行錯誤を重ね、手応えをつかみ、各取組の尊さを現場に伝えていく方針だ。

なから・ひでお 昭和61年道教育大剣路分校卒。同年から教壇に立ち、剣路市立東小学校にて教務。平成2年教諭昇任して、根室市立厚床小、自衛隊立原小路小へ。27年校長に採用され中標津町立厚床小、勇子町立厚字屈小に勤めた。こじはくから退職。

昭和38年5月14日生まれ、57歳。剣路市出身。

田島敏明会長を

コロナ禍 停滞最小

道公立学校事務

道公立学校事務職員協会は、本年度の事業計画や役員などを決めた。会長に就いたのは、田島敏明会長を兼任した。

は、本年度の事業計画や役員などを決めた。会長に就いたのは、田島敏明会長を兼任した。

は、本年度の事業計画や役員などを決めた。会長に就いたのは、田島敏明会長を兼任した。